

2025/8
No.291

WAC
WONDERFUL AGING CLUB
長寿社会文化協会

2025年8月15日発行 通巻291号
<https://www.wac.or.jp/>
E-mail: iken@wac.or.jp



ふれあい ねっと

Wonderful Aging Club Network and Communication



▼服部万里子理事長を再選
常務理事4人も再選
▼定時総会を開く
前年度事業報告と今年度事業計画を了承
▼コミュニティカフェの開設支援
東京で「3-DAY講座」

全国の
WACポイント
27拠点の
活動一覧

WAC 定時総会

服部理事長を再選 事業の収支差はマイナス 会員減少が続く

公益社団法人・長寿社会文化協会（WAC）は、6月19日（休）の午後2時から、東京都港区の日本女子会館内のWAC会議室で定時総会を開いた。

WAC正会員には議決権行使書と委任状を事前に配布していた。当日は13人の会員が出席した。議決権行使書を提出している会員は41人に達した。したがって合計出席者は54人となった。

平野（佐藤）陽子事務局長から、「現時点で、議決権を有する正会員総数は80人です。本日の出席者と出席と見なされる正会員は54人になります。これにより、出席者は正会員の過半数を上回っており、定款第18条に基づき、今総会は成立しています」との報告があった。

「開会に先立ち服部万里子理事長からひと言挨拶をお願いします」と平野事務局長に促され、服部理事長が「熱中症警戒アラートが発令される猛暑の中、十分気を付けてそれぞれの活動に励んでほしいと思います」と話した。

次いで、定款の規程に基づき総会の議長に服部理事長を選出した。服部理事長から「総会を円滑に進めるため議事進行にご協力をお願い致します」との言葉が

あり、第1号議案の検討に入った。それぞれ事業について担当する業務執行理事（常務理事）と理事が説明した。

第1号議案

2024年度事業報告について

コミュニティカフェの開設支援講座を続けているWACが、その集大成と言えるコミュニティカフェ全国交流会を4年ぶりに開きました。また、千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理事業は第5期（2022～24年度）の契約が終了し、25～27年度の3年間の事業継続が決まりました。

理事会はZoomによるオンライン併用で6回開催しましたが、今年度はすべて対面で行う予定です。

会員状況ですが、年度末の個人会員は422人です。減少傾向ではありますが、北海道で長く会員だった亀川昌一さんの息子さんが、お父様の遺志を引き継いで「会員としてお手伝いできることがあれば」と先日WAC事務局まで来られました。

初代の会員は高齢化していますが、次につながる人たちが少しずつ動き出してきたと思います。法人会員は合計12社（法人賛助会員9社、団体賛助会員3社）です。全体の収入実績は1億6395万円、支出は1億6416万円となり、収支実績はマイナス21万5千円でした。

〈公益事業〉

千葉県ふれあいプラザにとって24年度は第5期指定管理の最終年度でした。

最終年度にふさわしく利用者数、利用料ともに予算を達成できました。

総利用者数は、13万人の計画に対して実績は15万8千人となりました。前年度の12万8千人と比べても大幅に増えました。利用料収入も大幅に増えて最終年度を飾ることができました。

そして、11月には千葉県から第6期指定管理者（25年4月1日～28年3月31日）に選定されました。

介護実習センターの県民研修は、県の目標値4500人に対し一般県民研修60講座、専門職研修41講座の合計101講座を開催し、4837人が受講しました。101講座のうち、61講座は出張あるいはオンライン講座で、出張研修先も18市町と確実に県内に広がっています。

介護予防トレーニングセンターは、登録累計者数953人に達しました。この4月で1000人を超えました。延べ年間利用者数は3万2172人と大幅に増えていきます。最後にふれあいホールですが、年間利用者数は10万2407人で前年度の7万7193人から2万5214人増えました。

福祉サービスの第三者評価事業は、受審事業所が高齢者34件、保育園3件、障害者施設3件、児童養護施設2件で実施しました。





総会終了後に出席者が一堂に会した。前列左から、高倉幸次、鷹野義量、服部万里子、升田忠昭、小町純一、山口浩平。中列左から、浅川澄一、若林麻衣、前田宏興、伊東修平、濃洋子、河部誠一、平野陽子、嶋田直美。後列左から、向井隆泰、昆布山良則（いずれも敬称略）

《公益事業3》

コミュニティカフェの活性化事業は、今年3月8日にコミュニティカフェ全国交流会を4年ぶりに開催しました。基本的には、コミュニティカフェ開設講座の受講生が独自にコミュニティカフェを開くためのプランを発表するイベントです。

各開設講座の受講生による事業計画案の発表のほか、運営しているカフェが話題を集めている4人の主宰者をお招きしスピーチしていただきました。全国から100人以上が参加し、盛況でした。

《収益事業1》

高齢者福祉の人材育成事業は八王子市、文京区、品川区、東京しごと財団からそれぞれ委託事業を受託し実施致しました。

東京しごと財団からの委託事業、生涯現役社会推進事業は55歳以上の方を対象にしたライフプランと再就職の現状を学ぶセミナーです。都内60カ所で実施しました。定員数1898人に対して2574人の申し込みがあり、実際の参加者は1990人でした。

《収益事業2》

高齢者疑似体験事業のインストラクター研修は4回実施しました。認知症疑似体験セットについては、年2回貸し出しを行っています。貸出先のNPO法人日本福祉ネットワーク協会は美容師さん向けです。神奈川県立衛生看護専門学校では2年生が高齢者施設に研修に行く前に

認知症研修を実施しています。

《収益事業3》

収益事業3の品川区からの委託事業は、外出学習化事業、男の手料理教室、わくわくクッキングの3事業を行いました。事業の報告は以上です。

服部理事長から「今、事業報告がありましたが、厚生労働省が5月30日に発表した一般職業紹介状況によると、4月にハローワークに申し込んだ65歳以上の新規求職者は約12万3千人だったそうです。人手不足や物価高騰が背景にあると思いますが、仕事に就きたいと思う人が増えています。WACの活動というのは社会的に求められていると思いました」とのコメントがあった。

《質疑応答》

服部議長が、第1号議案について質問者を求めたところ、高倉幸次理事が「収益事業2の高齢者疑似体験・認知症疑似体験の実績が予算を大幅に下回っています。何か対応をしていかなければと思います」と問いかけた。

これに対し浅川澄一常務理事が「疑似体験をしなくても高齢者が周りに増えている。認知症については他の事業者が相対的に良いものを出してきている中、WACのものは20年以上前に作った。予算を下げればよかったと思う」と答えた。

服部理事長は「その問題があるとしてこれからどのような形で働きかけていくのか。高齢者のことはみんな知っているというが、子どもで高齢者と同居している方はとても減っているの、必ずしも

分かっている人ばかりではないはず。高齢者疑似体験を小中学校で実施することは今まで以上に意味があると思います」と話した。

《監査報告》

次に前田宏興監事から「事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めました」との監査報告があった。採決に入り、全員が賛成し第1号議案は承認可決された。

第2号議案

2025年度事業計画について

25年度は、高齢者疑似体験の利用者データを整理したり、ホームページにも手を入れ、発信活動を高めていきたいと思っております。会員に関しては、会員やポイントが減っていますが、年間200万円近くの会費が入ってきます。WACを応援してくれている会員さんたちのことを大切にしていきたいと思えます。

《公益事業1》

千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理事業は2006年にスタートしました。「県民に愛される施設を目指す」ことをスローガンに高齢者福祉の増進に努め、利用者は290万人を超えるようになりました。近々300万人を突破しそうです。

介護実習センターでは、県民研修105講座開催（一般県民研修65講座、専門職研修40講座）を目指し、介護技術体験を新たに導入していきます。

《公益事業2》

公益事業2の高齢者の雇用・就労支援事業については、港区の「みなと＊しごと55」の事業が22年2月に終了しました。その後、江東区の委託事業「福祉のしごと相談・面接会」を2023年に続き2024年度も行いました。

WACの会員向け機関誌「ふれあいねつと」は24年8月に第289号を、25年3月に第290号を発行しました。会員及び関係各所にそれぞれ1500部配布しました。

目標発行数を年4回としました。
2回以上は確実に発行する方針です。

〈公益事業2〉

公益事業2については、自治体からの受託事業の確保に努め、2件を目指します。

〈公益事業3〉

コミュニティカフェ全国交流会を来年2月28日(土)に予定しています。交流会を開くことで、シニアだけでなく若年や子ども世代も含めた居場所づくりを広げていければと思います。

〈収益事業1〉

収益事業1は委託事業が中心です。東京しごと財団からの委託で生涯現役セミナーを都内で年間60回開催します。文京区からの委託事業「介護人材確保・啓発事業（入門的研修）」を、板橋区からの委託事業「介護予防・日常生活支援総合事業（入門的研修）」を行います。今年度は高齢者福祉に関する独自の研修事業を1コースは開催する計画です。

〈収益事業2〉

高齢者・認知症疑似体験については、インストラクター研修を今年も年4回実施します。9月18日の第2回は対面研修です。全国各地での出張研修、オンライン研修の開催を予定しています。

販売については、掘り起こしをしてい

くとともに、ホームページをリニューアルしていきたいと思っています。
服部理事長から「会員の獲得も含めてぜひ広げていってほしいと思います」との発言があった。

〈収益事業3〉

東京都品川区からの委託事業がすでに始まっています。

採決に入り、第2号議案に全員が賛成し、承認可決した。

第3号議案

定款の一部改訂について

平野事務局長が「外部理事と外部監事が導入された公益法人法の改正に伴い定款を4カ所変更します」と現行定款と変更案について説明し、さらに前田監事から「改正公益法人法に基づき、事務局から新たに外部理事と外部監事に就任される方々についてお声掛けいただきました」と経緯説明があった。

高倉理事から「第23条の役員の選任について質問です。理事の場合は選挙で一般会員から選任されますが、外部理事・監事については今後どのように決定しますか」との質問があった。

それに対し「推薦してもらい役員会で承認し、最後に総会で承認するということしかない」と小町純一常務理事が答え、山口浩平顧問弁護士は「法律規定上は外部理事の方はあくまで理事、外部監事の方はあくまで監事なので、会員の決議で選任し

なくてはいけない」と話した。それを受けて服部理事長が「事務局が働きかけて理事会に推薦し承認を得たら、総会で決定をするということではよいのではないだろうか」とまとめた。第3号議案の採決に入り、全員が賛成して承認可決した。

第4号議案

役員への報酬総額（上限）について

平野事務局長から「常勤の理事及び監



理事会

4人の常務理事を選出

定時総会後に、総会で選出された理事による第3回理事会を開いた。

事、また、外部理事、外部監事に対しては、総額（上限）100万円の範囲内で、報酬等として支払うことができる、ということについて審議したい」と発議があった。小町常務理事が「今回、外部から理事さん監事さんが入りますので、定款変更に伴い明確に報酬上限を決め明記する必要があるということです」と補足説明した。

質疑の後で採決に入り、全員が賛成し承認可決された。

第5号議案

理事の選任について

第6号議案

監事の選任について

選挙管理委員長の嶋田直美さんが選挙の手續きを説明し、新たな外部理事候補の河部誠一さん、外部監事候補の伊東修平さん、理事候補の若林麻衣さんがそれぞれ挨拶した。投票の結果、理事立候補者14人と監事立候補者2人が有効投票数の過半数を超える賛成を得た。選出された理事と監事は次の各氏である（50音順、敬称略）。

浅川澄一、河部誠一、京極高宣、小町純一、昆布山良則、高倉幸次、鷹野義量、服部万里子、濱洋子、平野陽子、堀内龍文、升田忠昭、向井隆泰、若林麻衣（以上理事、以下監事）前田宏興、伊東修平

以上で定時総会の議案審議はすべて終了し、議長は閉会を宣言した。

新任の外部理事と外部監事

■外部理事 河部誠一さん

特定非営利活動法人みなとみらいクラブ理事長。2018年横浜市西区で初の総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、地域コミュニティの場や子どもたちが多様なスポーツに挑戦できる環境づくりを目指し活動している。

■外部監事 伊東修平さん

税理士。システムエンジニア。法人・個人の経営コンサルティング業務、税務会計業務を行う傍ら、IT企業を立ち上げ、販路拡大サービスやクラウドファンディング事業などを展開するほか、板橋区でウニの養殖の会社も経営。



2024年度収支実績

事業名		収入			支出			収支差			
		収入予算	収入実績	達成率	支出予算	支出実績	達成率	収支予算	収支実績	2023 年度 実績	
共通 （法人会計）	受取会費		2,500	2,352	94%	0	0	0%	2,500	2,352	2,557
	雑収益		7,800	6,743	86%	0	0	0%	7,800	6,743	6,899
	受取寄付金		0	0	0%	0	0	0%	0	0	168
	小計		10,300	9,095	88%	0	0	0%	10,300	9,095	9,624
	管理費		0	0	0%	22,000	9,036	41%	-22,000	-9,036	-10,583
	組織運営費		0	0	0%	400	124	31%	-400	-124	-245
	小計		0	0	0%	22,400	9,160	41%	-22,400	-9,160	-10,828
	共通（法人会計） 合計（A）		10,300	9,095	88%	22,400	9,160	41%	-12,100	-65	-1,204
公益事業	公1	ふれあいねっと	0	0	0%	1,800	2,564	142%	-1,800	-2,564	-2,046
		第三者評価	12,000	13,547	113%	12,000	10,228	85%	0	3,319	1,064
		千葉指定管理	87,375	87,751	100%	87,375	89,051	102%	0	-1,300	-670
	小計		99,375	101,298	102%	101,175	101,843	101%	-1,800	-545	-1,652
	公2	就労支援	2,500	2,100	84%	2,500	1,905	76%	0	195	-1,237
	公3	コミュニティカフェ事業	900	1,175	131%	900	1,426	158%	0	-251	-217
	公益事業合計（B）		102,775	104,573	102%	104,575	105,174	101%	-1,800	-601	-3,106
収益事業	収1	受託研修（生活支援研修、他）	32,000	40,760	127%	23,800	40,421	170%	8,200	339	-487
	収2	高齢者・認知症疑似体験	9,000	4,342	48%	4,500	4,992	111%	4,500	-650	423
	収3	介護予防料理教室等	4,500	5,180	115%	3,300	4,418	134%	1,200	762	816
	収益事業合計（C）		45,500	50,282	111%	31,600	49,831	158%	13,900	451	752
	公益事業・収益事業（B＋C） 合計		148,275	154,855	104%	136,175	155,005	114%	12,100	-150	-2,354
公益法人合計（A＋B＋C）		158,575	163,950	103%	158,575	164,165	104%	0	-215	-3,558	

（単位：千円）

主 要 事 業 の 報 告

9、10月に東京で「3-DAY講座」を開催

「コミュニティカフェ開設・交流支援事業」

コミュニティカフェ開設講座は東京都千葉県で開きます。

東京はWAC会議室で、9月27日(土)から3週間連続の「3-DAY講座」です。第1回の講師は横浜市旭区で自宅を活用した住み開きカフェを運営している五味真紀さん。地域課題を解決するために、活動を広げてきた経緯などを話します。

第2回はWAC理事で税理士の堀内龍文さんが「コミュニティカフェの経営に必要な知識」と題して、会計、マーケティング、事業計画書の作成に触れます。

そして、第3回は各自が作成した事業計画を発表し、両講師が講評します。「3-DAY講座」は全8時間、受講料は8千円。気軽に参加しやすい時間と参加費にしました。

千葉は10月5日(日)から来年1月12日(月)までの全10回、我孫子市の「千葉県福祉ふれあいプラザ」から千葉・船橋両市に出張し、一般県民研修として行います。2014年から12期目です。

講師として、団地のカフェや認知症・ケアラーズカフェの運営者に加え、見学も2日間で5カ所回ります。最後の講座が事業計画発表と講評なのも前年までと変わります。

しかし、今年は量より質を重視しようと思っています。今までは参加者数を増やそうと、「来る者は拒まず」で、希望すれば千葉県外の人でも受け入れていました。無料の上、地元で類似の講座がないため、近県はもとより、北海道や九州から飛行



東京の「コミュニティカフェ 3-DAY 講座」のチラシ

機で通う人もいました。

単回参加も可としたため、19年に参加登録者は40人となり、コロナ禍では若干落ちたものの、22年からオンライン参加や後日のオンデマンド視聴も可としたため、23年には75人に膨れ上がりました。

初回の会場は混み合い、受講動機がはっきりしない人は1、2回で辞め、毎回の会場参加者は15〜20人でした。

会場とオンラインの間で音声が伝わらなかったり、スライドの画面が一致しないなどのトラブルが続出し、不満の声が聞かれました。

今年は参加者を千葉県内在住・在勤・在学・出身者に絞り、オンラインはやめます。県南部の人などは通学が大変ですが、以前は高速バスで通っていた人もいました。コミュニティカフェは実際に集まる場なので、その考え方に立ち返った講座にします。

また、2月28日(土)には、東京で「第12回コミュニティカフェ全国交流会」を開く予定です。

(理事・コミュニティカフェ事業

担当/昆布山良則)

障害者施設が5件と増加

福祉サービスの第三者評価事業

福祉サービスの第三者評価事業は東京都の評価手法に沿い、利用者をはじめ経営層と働く職員にもアンケート調査をし、一緒にサービス評価をしてもらうものです。2005年から600件を超える評価活動を行ってきました。

評価機関としてWACは「老舗」といわれる活動年数と評価活動数を重ねてきました。年を経て事務局体制も評価者体制も徐々に変わり、昨年から事務局に参加した私と今年度から参加する職員が加わり、評価者をバックアップする体制としては慣れない中、試行錯誤を続けています。コロナ禍以降初めて、評価者のみなさまとの交流会を5月24日(土)に開き、改めて事務局の顔ぶれを紹介しました。

評価事業の中心となるのは特別養護老人ホームです。近年設置される特養は小規模ですが、職員数60人ほどの小規模なところから、入居者が200人を超える大規模な施設まであります。7月中旬時点で「標準項目」の調査は4件、「利用者調査」は5件です。両調査を交互に毎年契約を結び、取り組む事業所ばかりです。

高齢者サービスはそのほか認知症対応グループホームが1件。訪問介護事業所が1件となっています。

昨年はこの時期に行政からの高齢者施設の落札がありました。今年も墨田区の場合、入札で同額の4評価機関がくじ引きになりました。品川区では、昨年より抑えて入札したにもかかわらず、

1割も低く金額設定をしてきた評価機関に負けてしまいました。

今年度は障害者施設の受注が増えています。これまで契約してきた2事業所と、今年初めて入札で獲得した渋谷区の3事業所を合わせ、5事業所です。障害者の生活介護の施設や就労支援施設などから障害のある若い利用者の生き生きとした写真を掲載したパンフレットや広報誌などカラフルな資料をお送りいただいています。まだ全体的な契約数は少なく、予算に届いていません。

今まで経験のない乳児院からのお声但也有り、受注につなげたいと鋭意努力しています。秋口に出てくる入札を期待しながら、現在、以前評価した事業所への電話掛けなどを行っています。事業所の紹介などお声掛けください。よろしくお願いします。

(理事・福祉サービスの

第三者評価事業担当/濱洋子)



盛況のトレーニングセンター

千葉県福祉ふれあいプラザ

2006年8月1日、千葉県と我孫子市の複合施設「けやきプラザ」がオープンし、その中で「千葉県福祉ふれあいプラザ」が開業しました。オープニングセレモニーでは、「これからの福祉社会を考える」をテーマに一番ヶ瀬康子WAC会長（当時）らによるパネルディスカッションが行われました。

以来、「県民に愛される施設を目指す」をスローガンに、持続可能な施設運営の確立を図ることを主要テーマとし、WACは指定管理者として、県民とともに高齢者福祉の増進に努め、今年20年目の夏を迎えました。

開業以来、この7月末までの総利用者は、300万人を突破しました。

指定管理も第6期（25〜27年度）に入り、第1四半期が過ぎました。

千葉県福祉ふれあいプラザは「介護学習センター」「介護予防トレーニングセンター」「ふれあいホール」の3部門で構成しています。今年度は貸館業務が低調の中、介護予防トレーニングセンターがひとり気を吐いています。トレーニングセンターを利用するには、運動可否の医師判定を受けて登録会員になる必要があります。

コロナ期は700人ほどだった登録者はいろいろな新しい試みにより着実に増え、現在1019人になっています。



ふれあいホールで盆踊り

利用者の最高齢はなんと98歳のご婦人です。お元気に体操をされ、ご利用者の皆さんへ元気を与えられています。

この6月、トレーニングセンターでは、今年度1回目の認知症啓発イベント「トレセン祭」を開催しました。近隣地域の行事と関連を持たせ、社会参加を促すことを目的として、夏開催のあびこカップ祭りでの「河童音頭」柏まつりでの「柏おどり」の盆踊りを実施しました。

時間は、休憩を挟んでそれぞれ1時間の踊り体操。参加者は40人。皆さん、身振り手振りの振り付けを一生懸命覚えながら、笑顔あふれ、いい汗をかかれておられました。トレーニングセンターでは、このようなイベントを通じて「一体感や達成感を共有してもらい、身体活動だけでなく、社会参加のきっかけになればと思います。今後も第2弾、第3弾が予定されています。取り組みを期待したいと思います。（常務理事・統括責任者／小町純）

品川区から「就業支援事業」を受託

自治体から5つの受託事業、板橋区からは初



職水河期世代です。かつて、高校生の時に引きこもりを体験し、5年前に白血病になり、その年の秋に骨髄移植を受け、9カ月の入院生活のあと仕事に復帰しました。

この事業を担当する事務局職員は、就職水河期世代の向井隆泰さんと若林麻衣さんです。

なお2025年度に各自自治体から受託した研修事業は、7月現在で以下のとおりです。板橋区からの受託は初めてです。今年度はあと2つくらいの委託事業の入札がある予定なので、落札していけたらと思います。

- ① 東京しごと財団「生涯現役セミナー シニア期に向けた暮らしと働き方」
- ② 文京区より「介護に関する入門的研修」
- ③ 板橋区より「介護に関する入門的研修」
- ④ 品川区より「多様な人材の就業・活躍 サポート事業」
- ⑤ 品川区より「ユニバーサルデザイン普及啓発事業」

このなかで、東京しごと財団の事業以外はいずれも入札方式で、いわば価格競争です。文京区の事業は、前年度の入札では次点の事業者とわずか1000円差、本年度は3万円違いでした。

年々価格低下が起きており、WACは次点の場合が多いです。自治体からの受託を中心に事業を進めてきましたが、WACの自主事業としてもこうした研修事業を手掛けていく必要があると感じています。（常務理事・事務局長／平野陽子）

全国のWACポイント一覧 27

地域で交流し、助け合う活動が広がる

WACの仲間たちが、全国で活動しています。興味をひかれる活動が近くにありましたら、ぜひ参加してみてください。自分たちでも活動を始めてみようと思われたら、WAC本部までご連絡ください。会員が3人集まればポイント活動ができます。ポイント登録すると、活動中のけがや破損事故の際に、保険による補償が適用されます。

WAC 翻訳・通訳サービス

金子 賢二

☎ 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-2-5

サンライズ仙台 2 階 LSC 内

☎ 090-2845-8901 ✉ kaneko111@hotmail.co.jp

翻訳・通訳サービスを通して、社会への貢献を旗印に活動中です。有償ボランティアとしての翻訳・通訳サービスの仕事を獲得するとともに、無償ボランティアワークも行っています。

WAC 仙台竹細工趣味の会

庄子 末松

☎ 982-0011 宮城県仙台市太白区長町 1-7-28-1203

☎ 022-248-5958 ✉ s-take1203@wa3.so-net.ne.jp

昔懐かしい竹工芸品の作製を通して、社会貢献することをモットーに活動しています。今年は特に仙台市主催のシルバー創作展に出展することを目標にして、全員努力しています。



会のメンバーと庄子代表（前列左から2人目）



シルバー創作展で庄子代表が
出展した昆虫標本

Coiki

佐藤 美樹

☎ 981-1106 宮城県仙台市太白区柳生 7-26-5

☎ 022-386-9330 ✉ miki@coiki.co.jp

🌐 <https://coiki.co.jp/>

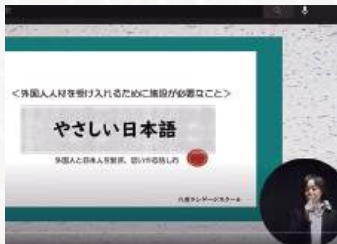
📘 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057602853288>

📷 <https://www.instagram.com/tohoku.ken/>

在留外国人就労者への日本語教育と、急増している外国人就労者在籍企業へ在留外国人と日本人が「やさしい日本語」でコミュニケーションがとれるよう、「やさしい日本語」研修に力を入れています。日本人が日本語をわかりやすく話すことは、耳が遠い高齢者への話しかけにも有用です。高齢化社会となり、ダイバーシティ（多様性）の尊重が求められる時代に必要「やさしい日本語」研修は、特にコミュニケーションが必須とされる介護従事者の方に好評です。お互いの歩み寄りが大切なことを伝え、子どもたちの未来のためにも多文化共生社会への礎をつくっていきたくと考えています。ポイント名のCoikiは「ともに永遠に」という意味です。



技能実習生を初めて受け入れた建設会社の皆さんと技能実習生とで「やさしい日本語」研修を開催しました。



山形県老人福祉施設協議会からの依頼で県内介護職員を対象に行った「やさしい日本語」研修の収録の様子

北海道

わっく室蘭

鈴木 健生

☎ 050-0072 室蘭市高砂町 1-10-17

☎ 0143-45-2034 ✉ wacmuro@oregano.ocn.ne.jp

🌐 <https://www.wacmurooran.jp/>

「さあ、出てきませんか?」の呼びかけから始まり、今年で34年目を迎えます。ボランティア活動、会員の交流行事は現在休止中です。有償ボランティアのヘルパー派遣事業からスタートした介護保険、障害福祉サービス事業を中心に高齢者、障がい者の在宅介護支援を行っています。

東北

WAC 東北ネットワークセンター

金子 賢二

☎ 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-2-5

サンライズ仙台 2 階 LSC 内

☎ 090-2845-8901 ✉ kaneko111@hotmail.co.jp

今年も新しいWACポイントの立ち上げを目指します。有志で毎月1回読書会を行い、毎回10人前後が参加しています。

千の森

千葉 浩

☎ 984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町 11-2

☎ 050-3633-3681 ✉ chiba45946@nifty.com

📘 <https://www.facebook.com/milfille>

宮城県名取市にある約500坪の畑で農作業体験を行っています。毎月2～3回、日曜日を中心に午前中の2～3時間活動しています。今年も4月にジャガイモの種芋の植え付けから活動を開始しました。キャベツ、キュウリ、トマト、ナス、トウモロコシ、オクラ、ズッキーニ、大根などを種から完全無農薬で栽培しています。和綿の栽培も3年目になります。昨年は収穫した大豆で味噌をつくりました。収穫したサツマ芋を



収穫した大豆で味噌づくり 畑で出来たサツマ芋を焼いて一休み

WAC まごころサービスみやぎ

横濱 敬子

☎ 980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-4 センチュリー青葉 601

☎ 022-215-4353 ✉ waccare@gol.com

1993年に活動開始以来、32年になります。現在は介護事業（訪問介護サービス、居宅介護支援、障害者支援）、独自サービスとして主に家事支援、子育て支援として保育園（小規模保育事業A型）を運営しています。人手不足に加え、スタッフ・ヘルパーも高齢になって大変ですが、保育園だけは子どもたちはもちろん、職員も元気いっぱいいます。おかげで私たちもそのエネルギーをもらって頑張っています。



5月に保育園の農園でサツマ芋の苗を植え付けました。11月の芋掘りが楽しみです。

※ネットワークセンター名・ポイント名 代表者名（敬称略）

※☎郵便番号 ☎電話番号 📠FAX番号 ✉Eメールアドレス 🌐ホームページ 📘Facebook 📺X 📷Instagram

ふれあいネットまつど

細嶋 千広

☎ 270-2251 千葉県松戸市金ケ作 99-6
NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど
☎ 047-710-7450
✉ fnm2011@r4.dion.ne.jp
🌐 <https://fnm2011.okoshi-yasu.com/>
📘 <https://www.facebook.com/fnm2011>
📺 <https://x.com/fnmabc>



元気高齢者のための生活支援ボランティア研修会で、受講生に高齢者疑似体験「うらしま太郎」を装着し、生活のしづらさ、不便さを学んでもらっています。身体の動きづらさ、目の見え方、物の持ち方、不便さを実際に体験。利用者の気持ちになりきりました。

千葉ケア企業組合

町野 美和

☎ 261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂 1-10-18
☎ 043-278-9298 ✉ machinomiwa@bi-10.net
介護保険事業として、地域密着型通所介護、訪問介護を実施しています。助け合い活動として、通院介助や薬受け取り代行、配食・洗濯サービスなども行っています。介護予防のための健康マージャンも実施しています。



七夕飾りの前で写真に納まる通所介護「デイサービスまさご」の利用者たち



町内会の防災訓練に「デイサービスまさご」の利用者とともに参加

WAC 千葉

川原 健一

☎ 260-0013 千葉県千葉市中央区中央 1-10-10-406
☎ 043-225-4224 ✉ office@f-angel.jp
地域における介護相談や関連事業の紹介などを行っています。介護保険事業所と提携して介護サービスを安心して受けられるように、専門相談員が親切丁寧にサポートしています。事業のマスコットキャラクターを作りました。Kは、親切 (Kind) な手助けには、正しい知識 (Knowledge) と継続 (Keep) する力が大事というメッセージです。キャラクターが子供なのは次世代に続くように希望を込めてです。元気な高齢者が、ハンディキャップのある高齢者を支援する社会構築にも取り組んでいます。



マスコットキャラクター

渋谷介護サポートセンター

服部 万里子

☎ 150-0046 東京都渋谷区松濤 1-1-3 松濤栄光ビル 4 階
☎ 03-3469-4361 ✉ npo@shibuyakaigo.com
🌐 <http://www.shibuyakaigo.com/>
介護保険開始と同時に NPO 法人 (特定非営利活動法人) を立ち上げ、渋谷区民を対象に居宅介護支援 (ケアマネジメント) を続けてきました。ポイント活動は第一がケアマネジメントで、24 時間対応しています。第二として毎月ケアマネジャーや地域の介護サービス事業者向けの研修会を開催しています。現代の話題や介護保険の最新情報などをテーマとして実施しています。2025 年 5 月、6 月はルーテル学院大学名誉教授、福山和女先生に「人の尊厳とスーパービジョン体制」をテーマに 2 カ月連続で講演していただきました。



NPO 法人の総会を終えて、出席者で記念撮影

WAC さしすせそ

藤井 多津子

☎ 145-0065 東京都大田区東雪谷 4-6-8
☎ 03-3728-6540
✉ jijiwakuroneko@yahoo.co.jp
品川区高齢者介護予防事業を WAC 本部と協働して、「シニアのためのやさしい

関東

WAC とちぎ

高村 和夫

☎ 320-0828 栃木県宇都宮市花房本町 5-5 有限会社タスコ 2 階
☎ 028-637-2488 ✉ info@kenkouma-t.com
🌐 <http://kenkouma-t.com/>
月 3 回 原則第 1・第 2・第 3 水曜日 13～17 時に、公共施設を利用して初心者や経験者が気軽に参加できる「健康マージャン教室」を開催しています。マージャン卓・牌の無料貸し出しも行っています。「ねんりんピック健康マージャン種目」栃木県代表選手選考大会の主管団体を担当しています。

WAC ぐんま

後藤 満里子

☎ 378-0061 群馬県沼田市岡谷町 1077-2
☎ 0278-22-0705 ✉ oze-info@oze-nadeshiko.com
🌐 <https://npoozenadeshiko.wixsite.com/website/>
2024 年度は、「尾瀬なでしこの会」(WAC ぐんま) にとって記念すべき 20 周年を迎えました。それを記念して毎月第 2 土曜日は「子育ての日」と銘打って、過去に行ったイベントを再び開催して地域の皆様に参加いただき、多くの方に喜んでいただきました。畑のジャガ芋やサツマ芋の植え付けと収穫、レジンアート制作、映画会、認知症予防ゲーム、「ふまねっと運動」など、いろいろとチャレンジしました。多くの反響を頂き、2025 年度も継続していくことになりました。地域の「元気」の手助けになれば幸いです。



ジャガ芋などいろいろな野菜を地域の方々と収穫しました。



レジンアートでキーホルダーを制作しました。

WAC 浦和 ケア・ハンズ

大森 みゆき

☎ 330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町 2-5-1 アーバン元町 102
☎ 048-813-1006 ✉ c9a9r5e@nifty.com
🌐 <https://carehands1995.jimdofree.com/>
介護保険枠外でのホーム・ヘルプサービスを主な活動として実施しています。高齢者・障がい者のことを理解してもらう啓発活動は、企業担当者向けに高齢者疑似体験研修を数回実施しました。小学生向け高齢者疑似体験「つくし君」は活動要請がなくなりました。

ふれあい大綱

佐藤 廣子

☎ 299-3263 千葉県大網白里市柳橋 736-13
☎ 0475-72-5022
✉ fureais@wine.plala.or.jp
🌐 <http://www.fureais.co.jp/>
高齢者疑似体験、認知症疑似体験研修を年に 6 回ほど行っています。居宅介護支援事業、訪問介護事業、サービス付き高齢者住宅の運営、初任者研修、実務者研修を行っています。サービス付き高齢者住宅では畑を耕し、収穫したものを皆で味わっています。



高齢者疑似体験では装具を付けてジョギングセンターに行き、高齢者役の人が目が見えづらく耳が聞こえづらい状態で商品を選ぶなど、高齢者の体の機能低下を体験しています。



サービス付き高齢者住宅では、季節ごとに実る野菜を利用者さんと一緒に収穫し、旬の物を食べてもらって、「美味しい」と喜ばれています。

WAC 清水さわやかサービス

松本 利枝

☎ 424-0929 静岡県静岡市清水区日立町 24-17
☎ 054-336-8844 ✉ wacshimizu@sepia.ocn.ne.jp
🌐 <http://wac-shimizu.com/>

介護保険事業では、居宅介護支援、自立支援型デイサービス・はたらくデイサービスの2つの地域密着型通所介護を運営しています。「さわやかサポート」は介護保険外の生活支援、配食などの活動をしています。また、静岡県から居住支援法人として指定され、賃貸住宅などの契約が困難な方を支援しています。「困った時はお互いさま」を理念に活動しています。

近畿

WAC 近畿ネットワークセンター

高倉 幸次

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8
☎ 090-3168-2694 ✉ koushou8942@docomo.ne.jp

2022年度に、日本財団助成事業「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」の京都会場分をWAC本部と連携して開催しました。WACさくらんぼ京都と協働で行いました。

ほっとケアまほろば

高倉 幸次

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8
☎ 090-3168-2694

✉ koushou8942@docomo.ne.jp

お写真と法話の会を月1回、市民交流プラザで開催しています。コロナ禍で中断していた古社寺巡礼など、外へ出る活動を再開しました。



京都・鞍馬寺の多宝塔前で

WAC さくらんぼ京都

石田 淑子

☎ 615-8241 京都府京都市西京区御陵谷町 17-12
☎ 075-392-0443 ✉ nqi28521@nifty.com

月2回の掃除と電話による話し相手、安否確認などを行っています。

WAC わかやま

松本 美香

☎ 640-8137 和歌山県和歌山市吹上 2-6-40 妙法寺境内
☎ 080-4244-1189 ✉ wacwakayama@gmail.com
🌐 <https://wacwakayama.wixsite.com/wacwak>

和歌山県民に向け、高齢者疑似体験「うらしま太郎、つくし君」を実施。月1回の託児グループ「ポピンズ」の活動、和歌山市および周辺でサポートを必要とする和歌山県民の生活支援、つどいの場の提供、保育サポーター養成講座の開催、託児ルームの開設、保育者派遣のコーディネートなどを行っています。

四国

WAC わをん

重松 美穂

☎ 794-0056 愛媛県今治市南日吉町 2-2-38
☎ 0898-25-3226
✉ wawon@estate.ocn.ne.jp 🌐 <http://wawon-imabari.jp/>
🌐 <https://www.facebook.com/NPO法人-わをん-852093854944865/>
「心の交通/バリアフリー研修」は愛媛県バス協会と協働で2004年度から実施しており、毎年バスの乗務員さんたちへの高齢者疑似体験研修と認知症疑似体験研修を実施しています。また、小・中学生の高齢者疑似体験も継続していて、「ひとにやさしいまちづくり」を目指して頑張っています。



中学生と地域住民とのゲールゲーム



商店街の交流スペースの前に立つわをんのスタッフ

手料理教室」(品川福祉専門学校と荏原文化センターの2カ所)、「わくわくクッキング」(荏原文化センター)、「外出習慣化事業」(大井林町高齢者複合施設集会所)の3事業を行っています。西大井いきいきセンターの食堂も運営しています。



シニアのためのやさしい手料理教室

WAC 認知症改善相談センター

鷹野 義量

☎ 160-0011 東京都新宿区若葉 1-22-16
四谷 ASTY207 号室 (担当: 石川裕子)

☎ 03-6380-5205 📠 03-6380-5549

✉ shinshintokyo2018@gmail.com

昨年度はNPO法人日本心身機能活性療法指導士会として、国際交流研修大会を11月、東京とZoomで行いました。また、心身機能活性療法初級・二級指導士認定研修会を東京都、愛知・奈良の各県で実施しました。心身活性教室は青森・栃木・福井・愛知・三重・島根の各県で行いました。国内屈指の脳外科医として著名な篠浦伸禎先生が主催する篠浦塾での「予防医療勉強会」「薬を使わない脳疾患の改善セミナー」でも、心身機能活性療法について早川理事長が講演し、認知症・フレイルの改善・予防の方策を伝えました。心身機能活性療法初級指導士認定研修会の様子



WAC プライム・ケア・トレーニング (WAC P.C.T) 前田 宏興

☎ 241-0836 神奈川県横浜市旭区万騎が原 29

横浜万騎が原行政書士事務所内

☎ 045-391-3501 ✉ gonatuo@gmail.com

介護資格取得セミナーを実施しています。在留外国人に対する資格取得支援を検討中です。特定技能登録支援機関の構成員としての活動と育成就労支援機関の設立を準備中です。

Ribinet (福祉理美容師ネットワーク)

戸塚 貴博

☎ 216-0026 神奈川県川崎市宮前区初山 1-38-3

☎ 044-976-9995 ✉ houmonribiyou@gmail.com

🌐 <https://ribinet.com/>

🌐 <https://www.facebook.com/ribinetwork>

🌐 https://x.com/ribi_net

訪問理美容業界のすそ野を広げ、技術者の雇用促進や専門的で安全性の高いサービスを提供できるように努めています。介護施設だけでなく、一番施術が困難とされる在宅の人に対応できる訪問理美容師を育成しています。

中部

Garage Cafe ホットスペース Myu

三浦

☎ 400-1515 山梨県中央市高部

✉ cij.kofu@tomato.plala.or.jp

健康維持・増進のための「こころと体のセルフケア」として、毎週1回の百歳体操と不定期の「キャバシター・こころと体のセルフケア体操」を行っています。居場所機能として、憩いの場「絵本Cafe」で茶話会、傾聴、読書スペース開放などを行い、今年から新たに「健康マージャン」を始め、隔週で楽しんでいます。地元社会福祉協議会が実施するグリーフケア講習会にも継続して協力しています。



講師はメンバーのご主人。指先を使う頭脳ゲームはなかなか覚えられず、困惑したりワクワクしたりしながらチャレンジ中です。

WAC 介護ふじ

佐橋 満智子

☎ 454-0921 愛知県名古屋市中川区中郷 3-337

☎ 052-354-1274 📠 052-351-5002

地域密着型で介護保険制度施行前から「あったか介護」で暮らしのサポートに務めてきました。介護保険制度では、訪問介護、予防専門型訪問サービス、生活支援型訪問サービスなどを実施しています。

『ふれあいねっと』は、個人会員569人（うち個人正会員80人）のほか、以下の法人・団体のご協力により、発行しています。

(N)ウェアラブル環境情報ネット推進機構／
(一財)高齢者住宅財団／(公財)さわやか福祉財団／(N)SSSネットワーク／(公財)テクノエイド協会／(N)東京山の手まごころサービス／
(一社)日本産業カウンセラー協会／(N)日本心身機能活性療法指導士会／(一社)日本青少年育成協会／久光製薬(株)／(N)りすシステム／YKK AP(株)
※五十音順。(株)＝株式会社、(一財)＝一般財団法人、(公財)＝公益財団法人、(一社)＝一般社団法人、(N)＝NPO法人

表紙の写真は：

右上隅 ●コミュニティカフェ開設講座で「西千葉アトリエカフェ びりーぶ」（千葉市中央区）を見学した受講生たち（P6のコミュニティカフェ開設・交流支援事業）

題字下左から ●千葉県福祉ふれあいプラザの一般県民研修「ボランティア入門講座」のボランティア体験で食べ物を販売する受講生たち ●同じく、ボランティア体験でハス園の雑草処分や藻取りなどをする受講生たち

その下左から ●「コミュニティカフェ全国交流会」で開設講座受講生がプラン発表 ●昨年度の「コミュニティカフェ 4-DAY 講座」で「コミュニティカフェ ななつのこ」（東京都世田谷区）を見学し、運営者から話を聴く（いずれも P6 のコミュニティカフェ開設・交流支援事業）

最下部左から ●介護予防トレーニングセンターによる「トレセン祭盆踊り」の様子（いずれも P7 の千葉県福祉ふれあいプラザ）



2025年8月15日発行 通巻291号

発行人：服部 万里子

編集人：浅川 澄一

編集：昆布山 良則、若林 麻衣

発行：公益社団法人・長寿社会文化協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-8

日本女子会館 1 階

TEL：03-5405-1501 (代)

FAX：03-5405-1502

制作：岡村直実（JCユニット）

定価 1 冊 400 円



あなたの暮らしをもっと豊かに、生き生きと
公益社団法人長寿社会文化協会 WAC へ
入会しませんか！

WACはWonderful Aging Clubの略
楽しく年を重ねていきましょう！

個人賛助会員の年会費は3,000円
会員誌『ふれあいねっと』が届きます
(個人正会員の年会費は、10,000円)

●WAC会員の特典●

会員が安心してWACの活動に取り組めるよう、会員補償制度を設けています。

●ご入会およびお問合せ●

☎ 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1 階 公益社団法人長寿社会文化協会
☎ 03-5405-1501 代

●年会費のお振込先●

ゆうちょ銀行振替口座 00150-1-33737 公益社団法人長寿社会文化協会

次の理事会は 10 月 20 日に

WAC は今年度の理事会と常務理事会の日程を決めました。

理事会は、10月20日、1月14日、3月18日です。常務理事会は、
10月20日、12月22日、1月14日、2月12日、3月18日です。
いずれも理事会は 14 時から、常務理事会は 13 時から開きます。



7月25日にWAC会議室で開かれた第3回常務理事会

「ふれあいねっと」バックナンバーのご案内

1冊400円(税込)＋送料(メール便)でお分けします。代金後払い(郵便為替・銀行振込、手数料お客様負担)です。在庫がなくなり次第販売終了となりますので、あらかじめご了承ください。

2025年3月号 (No.290)



- ・コミュニティカフェの
全国交流会を開催
実践者4人が活動をスピーチ
受講生5人がカフェプランを発表
14グループでテーマ別討論
- ・主要事業の報告
講演と映画で認知症を理解
千葉ふれプラ
Chubb 損保で初のうらしま研修

2024年8月号 (No.289)



- ・Message (服部万里子 理事長)
「参加型長寿社会」を目指して
- ・WAC 定時総会
収支差はマイナスに
理事長の交代を報告
- ・主要事業の報告
コミュニティカフェ全国交流会を
4年ぶり開催へ
高齢、障害、子どもで29件の評価
を実施
- ・全国のWACポイント一覧

2024年3月号 (No.288)



- ・Message (高倉幸次 理事)
一番瀬康子元会長との出会い
- ・認知症ケアの啓発イベント
「千葉県福祉ふれあいプラザ」
で開催
- ・介護保険の訪問介護報酬がダウン
事業者に危機感広がる
ヘルパー裁判、最高裁に
- ・「編集長の眼」No.13

2023年8月号 (No.287)



- ・Message (升田忠昭 理事長)
シニアがいきいきと暮らせる社会を
4期目の理事長として
- ・定時総会と理事会を開催
升田理事長を4選
コロナ禍でも331万円の黒字
会員減少は続く
- ・全国のWACポイント一覧
- ・事務局長の小林里美さんが逝去

2023年2月号 (No.286)



- ・Message (町野美和 理事)
コロナ陽性での気力減退から回復
お泊りデイの利用者に寄り添う日々
- ・「地域共生ボランティアのすすめ」
仙台市と京都市で開催
子ども食堂、カフェ事業者らが登壇
見学者がボランティア活動の現場で
感じたこと、学んだこと
- ・元理事の亀川昌一さんが逝去

2022年8月号 (No.285)



- ・Message (京極高宜 会長)
「レゾン・デートル」を再認識
- ・WAC 定時総会
事業収入はマイナスに
コロナ禍で収入減が響く
- ・主要事業の報告
地域共生ボランティアの養成講習
苦労しながら再開した品川区料理教室
- ・全国のWACポイント一覧
- ・新人職員紹介

ご注文

お送り先の郵便番号、住所、電話番号、氏名、希望の号、冊数を下記までお知らせください。

WAC ● E-mail: iken@wac.or.jp ● FAX: 03-5405-1502 ● TEL: 03-5405-1501
WONDERFUL AGING CLUB 公益社団法人長寿社会文化協会